

GWI (IFUW) Update 2017年3月8日号

第34回人権理事会においてGWIが演説

スイスのジュネーブにある国連において開催された第34回人権理事会に際して、GWIが、WG-USAのCIR（「米国大卒女性」国際関係コーディネーター）、Rosette Adera博士を市民社会代表発言者として擁立できたのは誇らしいことであった。理事会のハイレベル会合における陳述において、Adera博士は難民としての彼女自身の過去や難民環境におかれた少女にとっての教育の重要性を話した。彼女の陳述の全容は[ここ](#)にある。

GWI (IFUW) Update 2017年3月22日号

第61回女性の地位委員会(CSW61)におけるGWI

ニューヨークの国連本部で開催中の第61回女性の地位委員会が、最終週の第2週を迎えた。34名のGWI会員がCSWに参加し、また開催期間中、パラレルイベント*を主催している。3月15日午前には、オーストラリア大卒女性連盟(AFGW)が、「健康、教育、スポーツそして女性のエンパワーメントに関するオーストラリア、ルワンダ、バングラデシュでの経験を語る」というパラレルイベントを、Sirley Randell教授とJaya Earnest教授の出席を得て主催した。

3月16日にはカナダ大学女性連盟(CFUW)が、カナダのNPO法人MosqoyやYWCAと共同で、「変化する職場環境における良き指導者」というパラレルイベントを開催した。

またGWI会員のJeanne SarsonとLinda MacDonaldは、5つの団体とともに「職場や家庭で暴力のない生活を女性と女兒が送れるようエンパワーするための法律の行使」というパラレルイベントを共催した。

3月18日には、米国大卒女性(WG-USA)が「難民および移民女性の経済的エンパワーメント」に向けた課題についてパラレルイベントを主催した。

*注 パラレルイベント：国連の本会議に並行してNGO諸団体の主催により、国連周辺を会場に行われる討論会行事